

# 2019年度 公益財団法人柳井正財団 事業報告書 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

当財団は社会課題に独自の方法でアプローチし、人々が自立して、互いに尊重し合い、豊かな生活を送ることができる社会づくりに貢献することを目的としています。

2019年度は海外奨学金支給事業、留学希望者支援事業、国際交流事業で以下の事業活動を行いました(2019年12月9日に公益認定されましたが、当該事業報告書は一般法人期間も含めた事業年度単位で記載しております)。

## 1. 事業の概要

### < 1 > 海外奨学金支給事業

#### (1) 奨学生人数について

1期生	2期生	3期生	4期生	合計
36名	29名	31名	27名	123名

#### (2) 2019年度奨学生の選考(4期生)について

当財団の募集方法として用意している下記2通りの選考を行いました。

- ① 当財団指定大学の入学難易度を踏まえた合理的な選考方法として、継続的な海外留学実績があり、留学支援体制が整っている国内の高校を指定校にした学校推薦方式
- ② 世界中に居住する日本人学生が誰でも応募できる一般公募方式

#### ① 学校推薦方式(予約型)

##### 【奨学生の募集活動スケジュール】

- 2019年8月19日～2019年9月2日：応募書類受付(高校から応募)
- 2019年8月19日～2019年9月2日：財団職員による書類選考
- 2019年9月23日：財団職員による一次面接
- 2019年10月14日：奨学生選考委員会による最終面接

##### 【合格者人数】

募集期間内に財団が指定する高校の内、13校から計15名の応募を受けました。財団職員による書類選考と一次面接を通過した15名を、選考委員会による最終面接で審査を行った結果、9名を合格としました。

#### ② 一般公募方式(合格型)

- 2020年1月20日～2020年2月11日：応募書類受付
- 2020年1月20日～2020年4月3日：財団職員と外部選考補助者による書類選考
- 2020年4月10日～2020年4月11日：財団職員と外部選考補助者による一次面接

2020年4月15日、17日 : 奨学生選考委員会による最終面接  
※新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、面接はオンライン面接で実施。

【合格者人数】

募集期間内に国内・海外から計242名の応募を受付け、募集条件を満たした応募者に対し選考を実施しました。財団職員と外部選考補助者による書類選考と一次面接を通過した19名を、選考委員会による最終面接で審査を行った結果、18名を合格としました。

(3) 奨学金支給額について

- ・支給額 米国：1名に対し年間70,000米ドルを上限とする  
(2020年3月31日以降95,000米ドルに増額)  
英国：1名に対し年間50,000英ポンドを上限とする  
(2020年3月31日以降65,000英ポンドに増額)
- ・支給期間 米国：大学卒業までの通算4年  
英国：大学卒業までの通算3年
- ・2019年度支給額：

1期生	242,699,270円
2期生	199,917,319円
3期生	223,650,939円
総額	666,267,528円

(4) 2019年度コミュニティ活動について

① 海外奨学金プログラム懇親会

日時：2019年12月26日  
場所：(株)ファーストリテイリング 有明グレートホール  
参加人数：74名(内、奨学生66名)

② オンライン奨学金説明会

財団事務局のサポートのもと、奨学生が主体的にオンラインによる奨学金説明会を企画し広報・運営を実施しました。

日時：2020年7月19日、7月26日  
参加奨学生：50名  
説明会応募者(生徒数)：364名

③ 4期生のためのオンライン合宿の開催

コロナ禍によって大学入学後にキャンパス内で人間関係の構築が出来ず、日本でオンライン講義を受けることになった4期生のため、新入生同士や先輩

奨学生との繋がりを強めてもらうことを目的に開催しました。

日時：2020年8月3日、4日、5日

参加奨学生：4期生 27名

合宿運営メンバー：19名（1期生～3期生）

## < 2 > 留学希望者支援事業（助成）：留学フェローシップ

助成先：NPO 法人留学フェローシップ

(1) 助成金額：11,500,000円 / 年間

(2) 今年度の活動

助成団体が実施している「留学キャラバン隊（全国の高校・教育委員会等を廻り、海外留学の魅力と意義を伝える場）」の今年度の特徴としては、関東甲信越以西への訪問を重点的に実施したことです。その結果、首都圏・関西圏内の公立高校からの参加が増加しました。また、地方自治体や駐日大使館の留学フェアに参加したことで、海外進学熱の高まる首都圏を中心とした海外進学を真剣に考える層に多くリーチアウトすることができました。

留学キャラバン隊活動実績

年度	実施回数	都道府県数	参加者数（概数）
2019年度	37	24	3385
2018年度	31	18	1970

## < 3 > 国際交流事業（助成）：Stanford e-Japan

助成先：SPICE (Stanford Program on International and Cross-Cultural Education)

※米国 Stanford 大学内のオンラインプログラム

(1) 助成金額：11,589,600円 / 年間

(2) 今年度のオンラインプログラムの概要

① 秋コース（2019年10月7日～2020年2月7日）

・受講者：国内高校生 28名 - 男性 13名 / 女性 15名

公立高校 10名 / 私立高校 18名

（SPICE による書類選考で応募者の中から受講者が決定する）

・講義内容：1. U.S.-Japan Relations（日米関係）

2. The U.S. Political System（アメリカの政治制度）

3. The Attack on Pearl Harbor（真珠湾攻撃）

The Atomic Bombings of Japan（日本への原子爆弾投下）

4. Japanese American Internment（日系アメリカ人強制収容）

5. Gender Issues in the U.S.（アメリカのジェンダー問題）

6. Civil and human rights（公民権と人権）

7. Biculturalism and the Japanese (二文化併存と日本人)
8. Silicon Valley and Entrepreneurship  
(シリコンバレーと起業家精神)
9. International Study and Internships in the U.S.  
(アメリカでの国際的研究とインターンシップ)

② 春コース (2020年2月24日～2020年6月30日)

- ・受講者：国内高校生 29名 - 男性 14名 / 女性 15名  
公立高校 12名 / 私立高校 17名  
(SPICEによる書類選考で応募者の中から受講者が決定する)
- ・講義内容：
  1. Religion in the U.S. (アメリカの宗教)
  2. U.S.-Japan Relations (日米関係)
  3. The Attack on Pearl Harbor (真珠湾攻撃)  
The Atomic Bombings of Japan(日本への原子爆弾投下)
  4. Japanese American Internment (日系アメリカ人強制収容)
  5. Immigration to the U.S. (アメリカへの移民)
  6. U.S. High Schools and Education (アメリカの高校と教育)
  7. Silicon Valley and Entrepreneurship  
(シリコンバレーと起業家精神)
  8. Gender Issues and Equality in the U.S.  
(アメリカのジェンダー問題と平等)
  9. Biculturalism and the Japanese (二分化併存と日本人)

③ 今年度の Japan Day / e-Japan Day

秋・春コースから各3名ずつ優秀な成績を収めた高校生をスタンフォード大学に招待し、表彰する受賞式を2020年8月に開催する予定だったが、コロナ禍により開催が延期となった。受賞式の代替日は未定である。

## 2. 法人運営の概要

### < 1 > 役員に関する事項

2020年8月31日現在における役員は以下の通りです。

役職	氏名	常勤・非常勤	任期
理事長	柳井 正	非常勤	2021年度定時評議員会 終結のときまで
理事	古賀 信行	非常勤	
理事	國部 毅	非常勤	
理事	松家 仁之	非常勤	
理事	関 美和	非常勤	2020年度定時評議員会 終結のときまで
理事	柳井 康治	非常勤	
監事	真砂 靖	非常勤	2021年度定時評議員会 終結の時まで
監事	西川 克行	非常勤	2020年度定時評議員会 終結の時まで
評議員	榊原 定征	非常勤	2023年度定時評議員会 終結の時まで
評議員	小林 健	非常勤	
評議員	朝田 照男	非常勤	
評議員	小山 紀昭	非常勤	
評議員	平野 信行	非常勤	2022年度定時評議員会 終結のときまで
評議員	柳井 一海	非常勤	

< 2 > 会議に関する事項

2019年度の理事会・評議員会開催内容は、以下の通りとなっております。

【理事会】

開催日時	議案	結果
2019年11月1日 (決議の省略の方法)	第1号議案：2018年度（第4期）決算の承認 第2号議案：現理事の任期満了に伴う新理事の推薦 第3号議案：現監事の任期満了に伴う新監事の推薦 第4号議案：2019年度評議員会の開催について 第5号議案：奨学生選考委員会運営規程改定の件 第6号議案：奨学生選考委員増員の件	原案通り承認 〃 〃 〃 〃 〃
2019年11月22日	代表理事の選定について 職務執行報告	原案通り承認 報告
2020年1月29日 (決議の省略の方法)	第1号議案：海外奨学金事業 学校推薦公募方式 (予約型)の実施 第2号議案：ファーストリテイリングとの利益相反 取引の承認	原案通り承認 〃
2020年3月31日 (決議の省略の方法)	第1号議案：海外奨学金事業 奨学金支給金額の増 額について 第2号議案：2019年度資金計画（寄付金）について 第3号議案：就業規則の制定 第4号議案：ファーストリテイリングとの利益相反 取引の承認	原案通り承認 〃 〃 〃
2020年7月22日	第1号議案：2020年度（第6期）事業計画および予 算案の承認 第2号議案：理事の任期満了に伴う新理事の評議員 への推薦 第3号議案：監事の任期満了に伴う新監事の評議員 への推薦 職務執行報告	原案通り承認 〃 〃 報告

【評議員会】

開催日時	議案	結果
2019年9月26日 (決議の省略の方法)	第1号議案：國部毅理事の選任の件 第2号議案：「役員及び評議員の報酬等並びに費用 に関する規定」修正の件	原案通り承認 〃
2019年11月22日	第1号議案：2018年度（第4期）決算の承認につ いて 第2号議案：現理事3名の任期満了に伴う新理事 の選任 第3号議案：現監事1名の任期満了に伴う新監事 の選任	原案通り承認 〃 〃

### 3. 附属明細書

2019年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容に補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成いたしません。